

平成 28 年 4 月 16 日
九州地方整備局
22時00分現在

熊本県で震度 6 強を観測。管内所管施設の点検実施中。

～ 平成 28 年熊本地震に関する九州地方整備局の取り組み (第 15 報) ～

1. 概要

- 平成 28 年 4 月 16 日 1 時 25 分ごろ熊本県熊本地方で地震（最大震度 6 強）が発生
なお、九州地方整備局災害対策本部は非常体制を継続。
- 震度 6 強以上を観測した自治体を中心にリエゾンを派遣し、TEC-FORCE も活動中。

2. 体制

九州地方整備局災害対策本部は、非常体制 を継続中

○本部体制履歴

- ・ 4/14 21:26 非常体制 (地震震度 7) 継続中

3. リエゾン派遣

派遣先	派遣人数	活動中	備考
熊本県庁	2人	2人	
熊本市役所	2人	2人	
益城町役場	2人	2人	
御船町役場	2人	2人	
嘉島町役場	2人	2人	
西原村役場	2人	2人	
大津町役場	1人	1人	
菊池市役所	2人	2人	
南阿蘇村役場	1人	1人	
宇城市役所	1人	1人	
合志町役場	1人	1人	
和水町役場	1人	1人	
阿蘇市役所	2人	2人	
高森町役場	2人	2人	
八代市役所	2人	0人	撤収
宇土市役所	1人	1人	
産山村役場	2人	2人	
菊陽町役場	1人	1人	
大分県庁	2人	2人	
大分市役所	2人	0人	撤収
日田市役所	2人	2人	
合計	35人	31人	

4. TEC-FORCE

【対応状況】

○派遣人数・・・現在86名（今後も他地整を含め、追加派遣予定）

○技術的指導・・・国土技術政策総合研究所、国立開発研究法人 土木研究所

【対応内容】

○熊本県

- ・熊本県 橋梁等点検調査
- ・熊本市 橋梁等点検調査
- ・益城町 道路被災等調査
- ・嘉島町 道路被災等調査
- ・御船町 道路点検調査
- ・へり 被災地上空調査

5. 国管理道路の情報

【通行止め区間】

○熊本県

- ・国道57号 81k100付近 阿蘇郡南阿蘇村 土砂崩壊 [熊本河川国道]
 - ・国道210号 日田市天瀬大字合田地先～玖珠郡玖珠町大字戸畑付近 [大分河川国道]
- ※落石の危険性が高まったため。

6. 所管施設の状況

(1) 国管理道路

1) 国道57号 異常

- ・光ケーブル切断（南阿蘇村 立野付近）
- ・阿蘇市永草 74k900付近上り 路面亀裂（詳細を確認中）
- ・大津町引水 91k500付近 引水跨線橋 橋梁段差
- ・南阿蘇村立野付近 83k700付近 橋梁段差（詳細を確認中）
- ・熊本市東区長嶺町 113k300付近 橋梁段差
- ・熊本市東区御領 103k770付近 橋梁損傷
- ・熊本市東区神水本町 121k360付近 橋梁段差

(2) 国管理河川

- | | | | |
|------|--------|--------|----------------|
| ・遠賀川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・大分川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・大野川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・番匠川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・球磨川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | ※堤防天端にクラック等を確認 |
| ・緑川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | ※堤防天端にクラック等を確認 |
| ・白川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | ※堤防天端にクラック等を確認 |
| ・菊池川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | ※堤防天端にクラック等を確認 |
| ・矢部川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・筑後川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・嘉瀬川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・六角川 | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------------|
| ・鶴田ダム | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・緑川ダム | 一次点検完了 | 二次点検完了 | ※舗装のひらき等を確認 |
| ・松原ダム | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・下笠ダム | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・耶馬溪ダム | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・巖木ダム | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |
| ・竜門ダム | 一次点検完了 | 二次点検完了 | |

(3) 港湾

管内の港湾については、熊本港において一部利用制限があるものの、他の港はほぼ通常通り利用可能となった。

- ・ 熊本港 (熊本県) 臨港道路(渡橋部) : 港湾利用者限定通行可(応急復旧完了)。
島内の臨港道路・駐車場 : 段差があり、車の通行不可のため、迂回路を確保。復旧の対応策を検討中。
※熊本市の断水に伴い、4月16日(土)15時より、熊本港内の浮棧橋(熊本市)にて、船舶(海輝)から約160人及び給水車に飲料水(3,000L)の提供を実施。
- ・ 三角港 (熊本県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 八代港 (熊本県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 三池港 (福岡県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 別府港 (大分県) 点検完了 ※利用上問題なし(液状化、目地の開き)
- ・ 大分港 (大分県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 津久見港 (大分県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 佐伯港 (大分県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 下関港 (山口県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 北九州港 (福岡県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 博多港 (福岡県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 苅田港 (福岡県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 長崎港 (長崎県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 佐世保港 (長崎県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 唐津港 (佐賀県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 中津港 (大分県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 宮崎港 (宮崎県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 細島港 (宮崎県) 点検完了 ※異常なし
- ・ 鹿児島港 (鹿児島県) 点検完了 ※異常なし

(4) 空港

熊本空港(熊本県) 空港基本施設 運用に支障なし。(但し、空港ビルディング 建築被害)

(5) 官庁施設

16の官庁施設について、被害を確認。
熊本市からの要請により、熊本地方合同庁舎A棟が熊本市の緊急避難施設に指定された。

7. 災害対策用機械

○照明車	17台	9台 : 現場待機中 (グランメッセ対策本部1台、避難所外8台) 4台 : 国道57号 81k100 法面崩落現場へ移動中 5台 : 派遣準備中 (直轄河川現場1台、避難所外4台)
○衛星通信車	4台	3台 : 益城町役場、国道443号、国道57号(南阿蘇村)で活動中 1台 : 南阿蘇村に向け移動中
○Ku-SAT	3台	2台 : グランメッセ対策本部で待機中 1台 : 国道57号(南阿蘇村)で待機中
○待機支援車	1台	国道57号 81k100 法面崩落現場へ移動中
○散水車	3台	立野ダム事務所

○排水ポンプ車	3台	撤収中
○排水管清掃車	1台	九重町へ移動中
○情報収集車	1台	グランメッセ対策本部で活動中
○対策本部車	1台	グランメッセ対策本部で活動中
○公共BB (新可搬型移動無線装置)	1台	国道57号(南阿蘇村)で待機中

8. 主な物資の支援状況

本局及び管内事務所からの支援

<益城町>

水2L	・・・	1,120本	
パン	・・・	2,400個	
アルファ米	・・・	219個	
缶詰等	・・・	96個	
毛布・布団	・・・	63枚	
防寒マット	・・・	71枚	
ブルーシート	・・・	963枚	うち137枚は手配中

<県庁>

水2L	・・・	3,543本	1.5L	・・・	59本
パン類	・・・	5,089個			

<西原村>

アスファルト合材	・・・・・・	300袋
ブルーシート	10m四方	・・・40枚
〃	1.8m×100m	・・・・・・2本
土のう袋	・・・・・・	1000袋
トラロープ	100m	・・・・・・17巻
カラーコーン	・・・・・・	227個
土のう袋(小型)	・・・・・・	3000袋

<御船町>

水2L	・・・	288本
ブルーシート	・・・	280枚
パン類	・・・	1,080本

<美里町>

水1.5L	・・・	29本
水2L	・・・	1,615本

※自治会からの追加支援要請をとりまとめ、対応について検討中。

9. 防災ヘリコプターによる調査

【 はるかぜ号：九州地方整備局 】

4 / 15	6 : 05	福岡空港離陸
4 / 15	8 : 10	熊本地方上空での一次調査完了
	10 : 58	二次調査開始
	12 : 45	二次調査完了
	16 : 34	三次調査開始
4 / 16	6 : 05	福岡空港離陸
	7 : 31	熊本地方上空での一次調査完了
	8 : 31	二次調査開始
	10 : 06	二次調査完了
	13 : 57	三次調査開始
	16 : 29	三次調査完了

【 愛らんど号：四国地方整備局 】

4 / 15	8 : 41	福岡空港離陸
4 / 15	11 : 00	熊本地方上空での一次調査完了
4 / 16	11 : 38	福岡空港離陸
	14 : 20	阿蘇上空での一次調査完了

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部 企画部 企画課長 大場 慎治

電話：092-414-7301(本部直通) FAX：092-481-9210(本部直通)

【参 考】

リエゾン（災害対策現地情報連絡員）とは

フランス語で『組織間の連絡、連携』の意味。災害時に自治体との連携を密接に図るため、被災した自治体からの情報を待つのではなく、自治体へ直接派遣して被災情報を収集し、災害対策車の派遣など国から自治体への支援や復旧活動を迅速かつ円滑に行えるようにするもの。

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは

■目 的

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ①被災状況の迅速な把握
- ②被害の発生及び拡大の防止
- ③被災地の早期復旧